

(リスクアセスメント) 橋梁集水ます改良工 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和7年4月4日	トラック、ダンプ	スコップ、振動プレート	ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク しらすんだー受信機	鉄板、砕石、常温合材
改訂日	-				
作成者	宮本				
必要資格等	運転免許(準中型)、運転免許(中型)、職長教育講習			作業人員	5名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価		
準備工		作業前ミーティング											
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2	<p>上面図 下部-受槽 □226*126</p>	
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1		
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーの音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1		
	4	機械・工具等の点検をする。	機械、工具が現場にて稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1		
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1		
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2		
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2		
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2		
移動		現場への移動											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	<p>鋼板 260*260*3.2t インクリーザ- 100*125(VP)</p>	
	2	高速道路に入る前にプレート区域の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1		
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2		
	5	規制内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず誘導員の指示に従う	運転手	1	2	2		
		"	車両と作業員の接触	2	2	4	誘導員は運転手から見える場所で誘導を行う	誘導員	1	2	2		
本作業		集水柵仮埋め工											
	1	グレーチング等柵蓋を撤去する。	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2	<p>100 50</p>	
	2	鋼板、インクリーザ設置	指を詰めてケガをする	2	2	4	バール、スコップを使用して慎重に作業する	全員	1	2	2		
	3	砕石敷き均し、転圧	小石などが路面に残り飛び石となる	2	1	2	清掃を確実に実施する	全員	1	1	1		
	4	常温合材による舗設	機械と作業員との接触によるケガ	2	3	6	機械作業員以外機械には近づかない	全員	1	2	2		
片付け		現場離脱											
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護眼鏡等を使用する	作業員	1	1	1	<p>常温合材(密粒) 砕石 RC-40 塩ビ管 VP-125/L300 インクリーザ 100*125(VP)</p>	
	2	後片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2		
		"	"	2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2		
	3	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず誘導員の指示に従う	運転手	1	2	2		
				2	2	4	誘導員は運転手から見える位置に立つ	誘導員	1	2	2		